

～家康 伊賀越え～ 「つつきのみち」



1. あらすじ
本能寺の変、逃走ルート、登場人物
2. 京田辺・宇治田原のこと
宇頭城～木津川、草内の渡し
新八、穴山梅雪、見性院
山口城、遍照院、古文書
3. 苦難の逃走 宇治田原～岡崎ルート
4. まとめ 成功要因、家康の人間像
5. 本能寺の変の真実

『つつきはっけん講座&ウォーク』

第2回 H26.6.13



『伊賀越え』の魅力・面白味



- 諸説、謎が多い → 地域の言い伝え、ドラマ多数、推理
- 学ぶべきもの → 組織管理、リーダーシップ、郷土愛
人の生き方、人間性、信頼、健康、言葉

全体	逃走路	三日間	成功要因	
京田辺	穴山梅雪	通過した道	土地の人々	見性院
宇治田原	山口城	遍照院	古文書	
登場人物	人物像	家系図	人間関係	
疑問	追腹	梅雪の死	ひそみの藪	精華山田
	御斎峠	甲賀越え	知多・大浜	帰還後出陣
	本能寺の 変 黒幕説	古文書、 日記 、 書状、 伝承		

あらすじ

天正10(1582)年6月2日早暁

光秀 : 謀反を起こす

信長 : 本能寺に宿泊中、襲われ
四十九年の人生を終える

家康 : 上方遊覧が終わり、御礼言上のため、
堺の妙國寺を発ち京都へ向かう
河内飯盛山付近でこの変報を受ける



「**神君伊賀越え**」 **家康一行**:三日間の**逃走ドラマ**

苦難の道中、襲撃、協力者・道案内人
飯盛山～尊延寺～**京田辺**～**宇治田原**～
伊賀～白子～岡崎

主な登場人物



伊賀越え経路(堺～岡崎)



主な出来事・経過

月日	時刻	出来事	場所	
6月2日	4時	本能寺の変が起こる		
		家康、信長に上方遊覧の御礼に、京都に向かう	堺、平野、八尾	
	9時	茶屋四朗次郎、本多忠勝に「信長自刃」を報告	交野	
	10時	忠勝、 家康に変を伝える	飯盛山	京より9里
	14時	三河に帰ることを決め 出発	茶屋：銀子、本多：蜻蛉切り槍	伊賀ルートを選択 (服部半蔵)
		長谷川秀一：恩顧者に連絡、道案内を依頼	津田、杉	
	18時	普賢寺の百姓新八 と出会う 穂谷の白井家で宿泊	尊延寺、穂谷	山中道に迷い百姓と知り家康、安心して身分を明かす

主な出来事・経過

月日	時刻	出来事	場所	
6月3日	3時 ～	新八、穂谷の百姓忍兵衛の案内を受け草内の渡しまで	宇頭城、 普賢寺、 多々羅、興戸、 草内渡し場	家康 証文を授かる
	8時	飯岡 小山太郎左衛門 政清らに助けられ、木津川を舟で渡る	木津川 (増水中)	九寸七首 を授かる
	10時	新主膳正末景 市野辺出雲守 奥田仁義らが出迎え、 宇治田原山口城へ	多賀、青谷、 市辺、郷之口	山口城主 山口甚介 秀康 山口光広



家康逃走路

至枚方

宇頭城

近衛基通公御廟

多々羅

越前

竹取翁博物館

若冲屋敷跡

同大多々羅キャンパス

近鉄宮津駅

近牙神社

観音寺
(十一面観音立像)

新宮社

古民家

中世館

多々羅

下司古墳群

筒城宮伝承地

壽宝寺
(木蓮千手観音立像)

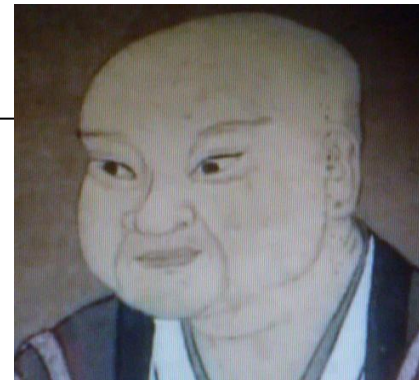
六山梅雪墓

飯岡の渡し

草内の渡し

家康逃走路

穴山梅雪



- 甲斐武田家武将：武田信君 天正8年出家、号：梅雪齊不白
母：信玄の姉 南松院 正室：信玄の三女 見性院（勝頼の姉）
- 天正10年2月 信長、家康は武田征伐を進める
梅雪、家康を介し信長に帰順を決意
※信玄亡き後、勝頼と不仲、老臣の横暴さを憎む
条件 ①武田家の継承 ②甲斐の領土の確保
- 3月 家康を案内し、甲州攻め、[天目山の戦い]で勝頼が滅亡、
武田家を継ぐ
- 5月 安土城で歓待、京都、堺見物
- 6月 本能寺の変後、急いで甲斐に帰ろうとしたが家康と共に逃走
※甲斐の領土所有、金品を多く持っていた梅雪一行は、
家康従者の強奪を恐れ、徐々に家康から離れる（殿：しんがり）
- 梅雪一行は、落ち武者狩りの土民に襲撃、川は増水、
渡るのが困難となり、木津川飯岡の渡しで自害
- 土地の人々が憐れんで飯岡の渡しの西岸に葬り
塔を築いて供養を行うが洪水でたびたび崩れるので、
飯岡真言宗蓮華寺に改葬し、塔を移す
- 明治8年2月 蓮華寺は廃寺となり、
現在の飯岡共同墓地へ塔を移す



木津川

名所・旧跡(明治10年ごろの地図上で)



渡し場

草内

飯岡

穴山
梅雪墓

興戸

天神山
遺跡

山本駅跡
寿宝寺

多々羅

日本最初
外国産蚕飼育
旧跡

磐之媛
住居跡

筒城宮
伝承地

観音寺

宇頭城

近衛基通墓

伊藤若冲
邸跡

公家谷

普賢寺
藤林普山
顕彰碑

甘南備山

尊延寺

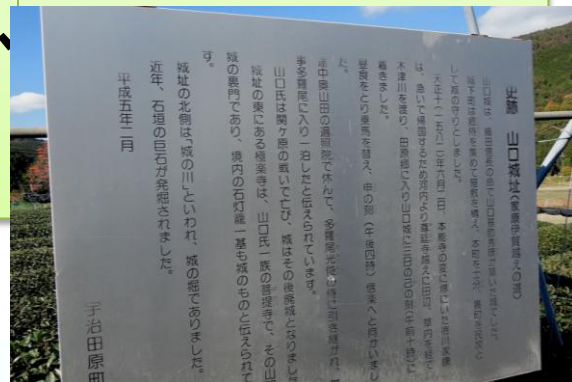
穂谷

「苦難の逃走」 木津川 草内渡し～市辺

月日時刻・場所	出来事	解説・注釈
6/3 8時 草内渡し	長谷川秀一が 山口甚介秀康 (山口城主)に 協力依頼	家臣 新主膳正末景 市野辺出雲守 奥田仁義らが 一行を出迎え 甚介は多羅尾光俊 (小川城)の六男 荒木村郷士 新十左衛門末次 京都所司代報告 宇治田原荒木 奥田良太郎 家系図
木津川	家康、川を渡る	小山政清が舟 を出し助ける 小山家家系図
多賀、青谷、 市辺		城陽人夫 6～70人協力

「苦難の逃走」 山口城～奥山田

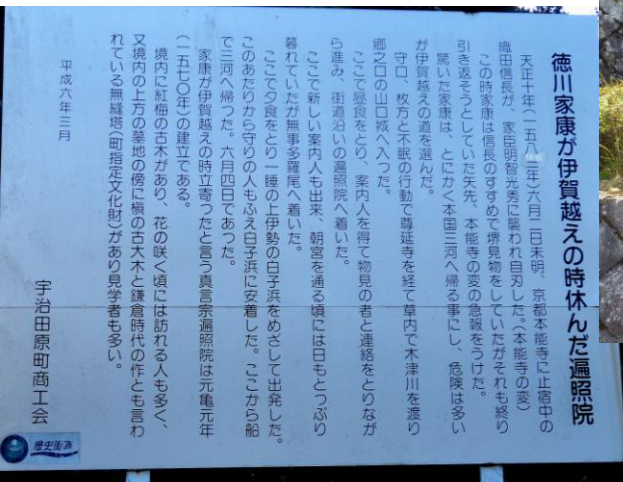
月日時刻・場所	出来事	解説・注釈
6/3 10時 郷之口	山口城(宇治田原城)に入る 昼食後12時出発	役に立つ馬と交換 宇治田原地侍 永谷永広が 道案内
14時 奥山田	遍照院で休息 今後の道筋・警戒 手段の相談	多羅尾二男、 三男手勢と 共に



遍照院



山口城跡

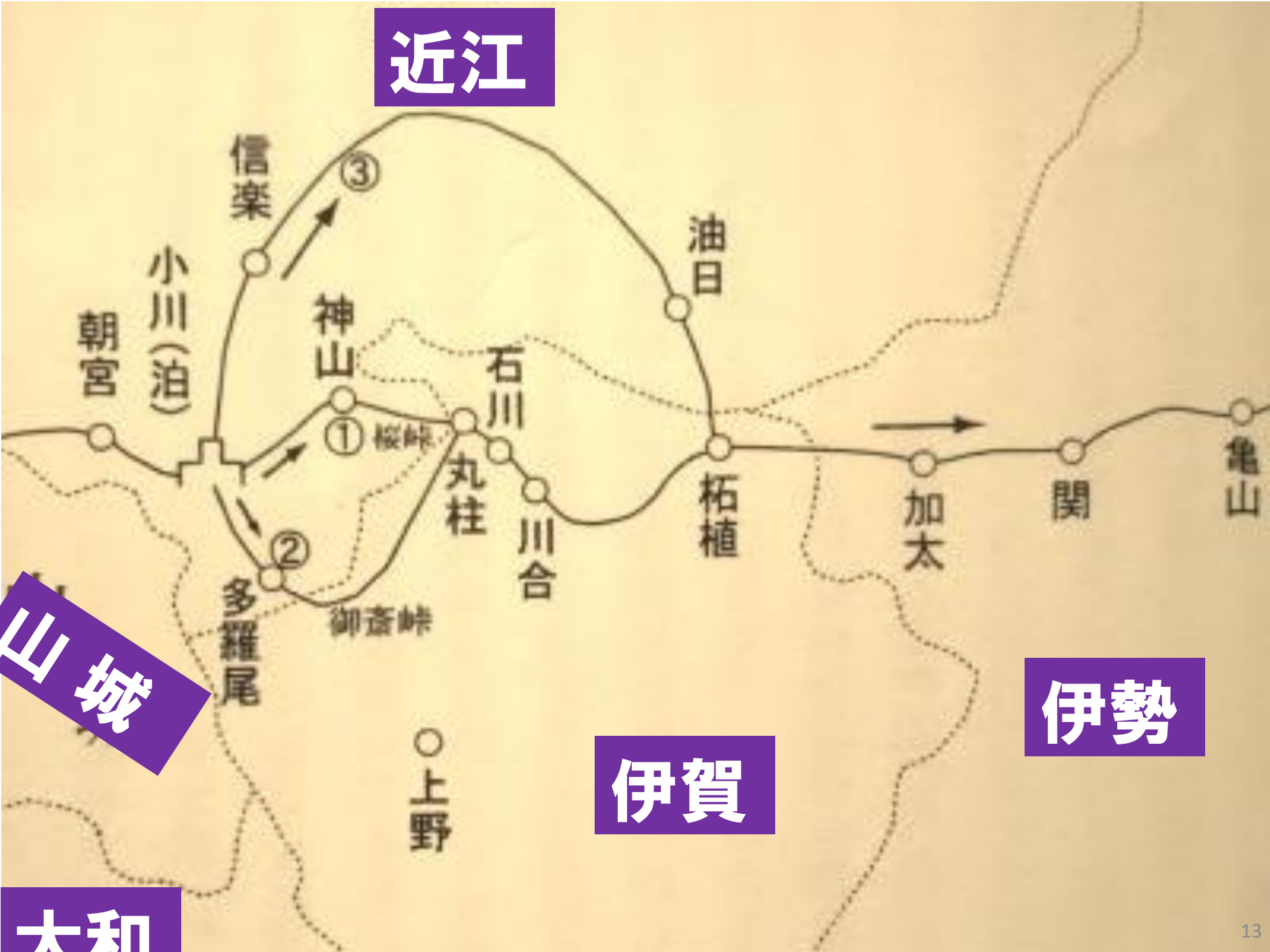


平成六年三月

宇治田原町商工会

歴史遺産

近江



山城

伊勢

伊賀

大和

「苦難の逃走」 白子～岡崎

月日時刻・場所	出来事	解説・注釈
6/4 21時 白子浜	伊賀・甲賀衆	廻船業 角屋七郎次郎
三河大浜		三河大浜まで 64km
岡崎城	到着後、軍を集結し上方に向かう (大雨)	14日 鳴海まで来たら秀吉が光秀討伐の報せを受け、引き返す
		6/13 山崎の合戦 光秀死去



朝宮
小川城
丸柱

柘植
加伏兔
関

白子

大浜

岡崎
三河



白子浜

「伊賀越え」の成功要因

情報伝達力

組織力
迅速性
一足先情報

状況判断力

冷静沈着
大胆
慎重



協力体制

道案内人

- ・茶屋四朗次郎(銀子)
- ・長谷川秀一
- ・集落の村長、村人、人夫
- ・甲賀(多羅尾光俊)
- ・伊賀忍者(服部半蔵)

人心掌握力

家臣との相互信頼
恩義を大切に

身代わり

影武者
穴山梅雪

家康の人間性

性格

大らか、大胆
用意周到
慎重、実直
用心深さ
忍耐強さ

リーダーシップ

危機に力を発揮
人のこころ掌握
恩義の大切さ

人に仕える、人質
失敗、苦難経験



組織力

無駄のなさ
実利、協調力
末永く泰平を

健康

剣術で鍛える
粗食、質素儉約
医薬調合

人の一生とは重き荷を負うて
遠き道を行くが如し

時代背景

各方面で織田軍団が進行中であり、信長は天下統一の総仕上げ(京都周辺の守りは、手薄)



明智
光秀

単独
犯行

怨恨説

1年前は感謝, 接待役失敗, 怒り
毛利攻め, 格下, 国替え
友好的な長宗我部攻め要請

野望説

時は今天が下する五月哉

ノローゼ

早い出世、ルマフ・レッシャー

『明智光秀家中軍法』 (信長に感謝)

『惟任退治記』 (秀吉称賛、光秀天下取り)

『信長公記』 (天が下なる)

明智憲三郎氏 『427年目の真実』 (天が下なる)

犯人・動機

本能寺の変の考察

明智
光秀

黒幕

朝廷

10日前に近衛,兼見,光秀会談
吉田兼見日記（書き換え）

足利義昭 光秀の主君,足利幕府再興
信長に追われ亡命し,鞆蟄居

長宗我部元親 攻めなければ攻められる

秀吉、家康
イエズス会、本願寺

明智憲三郎氏の主張

2009年『本能寺の変 427年目の真実』

2013年『本能寺の変 431年目の真実』

- 明智光秀の子孫 於雀丸（おづるまる）
- 土岐氏は、足利幕府の一大勢力、名門没落から回帰する
- ときは今天が下なる
土岐氏は、今この雨の下にいるような苦境の五月だが、月が変わり、六月になったら苦境を抜け出し平和な世の中に
- 怨恨、野望、ノイローゼ説を否定
- 土岐一族郎党の繁栄のために犯行

明智憲三郎氏の主張

2009年『本能寺の変 427年目の真実』

- 穴山梅雪が自害したのは、三河大浜に帰還後『松平家忠日記』・・・自ら確認後断定記述
- 家康が京田辺を通過後、梅雪の京田辺自害情報の入手が困難、誰から？

■ 謀者、忍者 などから考えられる

■ 京田辺には、梅雪一行のお墓がある
骨壺、見性院、宇治田原で死亡説・・・

2013年『本能寺の変 431年目の真実』

- 穴山梅雪が自害したのは、伊賀忍者に迫られ・・・

家康が迷いたどった京田辺西逃走路

6月13日(金) 13～16時 ●中央公民館～酒屋神社～(観音寺東側)～
～宇頭城～普賢寺谷～多々羅～ ●同志社前/中央公民館 約8km

訪れる場所	説明、注目点、関連事項
酒屋神社	河内酒造り一族が祖神を祀る。本殿:千鳥・軒唐破風、絵馬(先陣争い) 神功皇后朝鮮出兵、酒壺三個安置、凱旋後社殿創建、九山八海の名石
宇頭城	逃走する家康が、尊延寺・穂谷から辿りついた京田辺の地(うつぎ)
普賢寺谷	家康逃走路、地侍、鉄
田宮の館	300年前の代官屋敷。先祖は南北朝時代に後醍醐天皇に貢献。菊水紋
ふれあいの駅	地元の農家による「朝市」で、新鮮で豊富な農産物や地産の漬物類、味噌、生花等「安心安全」な加工食品を安価で提供、雇用創出、しんぶん
多々羅	大和棟古民家(休憩)、生駒翠山居住地、新宗谷遺跡、中世の館
通過場所	観音寺(トイレ)、普賢寺川、同志社大学、中央公民館展示室(昼休憩時)



- 1 3時集合、出発
- ① 中央公民館
 - ② 酒屋神社
 - ③ 普賢寺谷
 - ④ 宇頭城
 - ⑤ 普賢寺
田宮の館
ふれあいの駅
 - ⑥ 多々羅
古民家
- 16時頃 到着
- ⑦ 同志社前
 - ① 中央公民館

**第2回
ウォーキング
ルート**

**第1回
ルート**

家康が逃げたルート



井手

六山梅雪墓
特別養護老人ホーム
セピアの園

飯岡の渡し

竹取翁博物館

越前

多々羅

普賢寺谷

宇頭城

至枚方

第3回 「つつきはっけん」のご案内

8月8日（金） 10:00 京田辺市**中央公民館**

歴史講座 10:00~11:30
～継体天皇の謎、筒城宮とは～

魅力発見ウォーク 13:00~14:00
中央公民館～同志社大学(筒城宮址)

真夏の暑さが予想され、別途検討